

中学生が市をよくするための 意見を提案

～令和元年度 市長と語ろう！中学生ふれあい懇談会～



10月26日（土）、市役所本庁舎議場において「中学生ふれあい懇談会」が開催されました。市内の中学校から選出された16名の生徒代表が「郡上市を良くするために、中学生としての意見～郡上学の学びを生かす～」をテーマに学校の総合学習などを通じて考えた、市を活性化するための提案などを行いました。そして、各校代表から発表された提案について市長が考えを述べ、また、生徒より市長へ質問するなど意見が交わされました。

地域とつながる 「We Love 郡上の日」 〔大和中学校〕

中学生が、地域の人とふれあう時間と場所を作るため、各地域の公共施設などで、中学生や地域の人が参加し、地域清掃やレクリエーション、農業体験、ふるさと学習などを行うことを提案します。その日は「We Love 郡上の日」とし、原則としてクラブの練習や試合を行いません。こうした時間と場所が確保されることで、世代を超えた地域のつながりができ、中学生にとって学ぶことの多い機会となると考えます。



山田結愛さん、西口陽士さん

市長

地域と共に活動することを考える際に、そもそも地域とは何だろうということも考えていたいただきたいです。郡上市において地域といえば、自治会、シニアクラブ、公民館などがあります。それらがどのような活動をしているのかということも知ってもらい、一緒に活動していく場所や時間などを検討していく必要があると考えます。

郡上をアートの町に 〔白鳥中学校〕

今後、少子高齢化、人口減少により、空き家は増加すると考えます。そこで、国内外からアーティスト（音楽家・小説家・画家など）を招き、短期間滞在してもらいながら作品製作の場を提供するプロジェクト「郡上アーティストイン レジデンス」を提案します。アーティストに郡上へ来てもらうことで、郡上市に根付いている伝統文化や自然と融合した作品づくりを行い、郡上市を気に入ったアーティストにはそのまま移住していただければ大変良いと思います。



武藤創太さん、瀧明花さん

市長

アーティストが一定期間滞在し創作活動を行う事例は全国各地にあり、郡上市が気に入って移り住んでいらっしゃるアーティストもみえます。そのような事例などを参考にしながらプロジェクトを検討してみてください。その際に、先ほどの空き家対策と組み合わせた提案は大変良いと考えます。

郡上地域スポーツクラブの開設 〔高鷲中学校〕

少子化によって、人数が足りず部活動の選択肢が少なくなっています。自分のやりたいスポーツを選択できる環境を作るため、郡上の北部と南部でそれぞれスポーツクラブを作り、活動できるようにしてはどうでしょうか。



みよし 穂やと 義島把椰斗さん、山下翔愛さん

副市長

郡上市では、スポーツで市民のみなさんが元気になるための組織を作ろうとしています。その中で、地域スポーツクラブに近いものや提案にあった南部、北部に設置する案も検討しています。現在、指導者や練習場所の確保、生徒の移動手段などを検討しています。

郡上全体で人とかかわりあいを大切に 〔郡南中学校〕

高鷲町の分水嶺公園から美並町のまん真ん中センターまでの長良川沿岸を地域対抗で走る「長良川駅伝」の開催を提案します。ランナーや多くのスタッフに関わる市の一大イベントとしたいです。また、市内で一斉

に清掃を実施する日「オール郡上クリーンアップデー」を開催したいです。



高橋拓夢さん、石神あこさん

【市長】

郡上市には「さくら道国際ネイチャーラン」が大変有名な大会としてあり、提案の長良川沿いの駅伝という考えはよいと思います。しかし、このような大会の開催には、ランナーの安全対策や交通規制など課題も多いため、コースなどよく考えていく必要があると考えます。

「オール郡上クリーンアップデー」については、郡上一斉にといったインパクトのある提案で効果があると考えます。現在も長良川の清掃活動など市内一斉に行っていますので、これら規模を大きくしていくことなども考えられると思います。

地域の魅力を伝える
【明宝中学校】

「地域の人とつくる、つながる、ダーツの旅in明宝」という番組制作について提案します。これは、明宝地域の「おもしろい人」「魅力的な人」「甲斐性がある人」を私たちが取材して番組を制作し、ケーブルテレビに投稿することで、明宝地域の魅力をPRするということです。

ろい人」「魅力的な人」「甲斐性がある人」を私たちが取材して番組を制作し、ケーブルテレビに投稿することで、明宝地域の魅力をPRするということです。



置田心さん、澤奏真さん

【市長】

明宝では、鶏ちゃん、地歌舞伎、國田家の芝桜など熱い思いを持って活動している人がたくさんいます。そういった地域で輝くみなさん取材し紹介していくことはとてもよいアイデアだと思います。また、地域のために頑張っている人たちの活動を中学生のみなさんもぜひ、見習い引き継いでもらいたいです。

中学生が特色あふれる町の魅力を発信する
【郡上東中学校】



彌川心結さん、彌川倅多さん

中学生の視点でSNSを利用して郡上市の魅力を発信すること、今までは違った郡上市の特色を観光客などにアピールできると考えます。まずは、ふるさとの文化

に触れるために総合学習で学んでいる神楽笛や陣屋太鼓、陶芸、お囃子、そして食文化の魅力などを発信していきたいと思えます。そのような地域の魅力を観光客へ伝えるため、市民のみなさんにも積極的にかかわってもらいたいと考えます。

【市長】

和良には多くの魅力があるので、中学生の視点で情報を収集しSNSを使用して拡散すること、良い効果があると考えます。また、食文化に関し、例えば朴葉寿司は農作業の際に外で食べるために考案されたもので、生活の知恵から生まれたこのような「宝」を受け継ぎながら、経験に基づいた情報発信を行っていくことも大切だと考えます。

郡上市を活性化する
【八幡中学校】

現在、八幡町の新町通りなどは観光客が道に広がって歩き、そこを自動車が通行しています。とても危険に感じることがあるため対策を考えました。八幡町内では、11月に交通社会実験が行われると聞いています。新町通りなどを毎週または月に1回、土曜日を歩行者天国にして、出店する店を募集してはどうでしょうか。訪れる人も生活する人も楽しく交流できる

場所になると思います。また、八幡中学校では、毎年、「ゆかたデー」を行っています。市議会で行っている「ゆかた議会」と同時に、「ゆかたデー」を大きくしていきたいです。



細川心愛さん、岡田天秋さん

【副市長】

観光客も市民も安心して町歩かができるように駐車場マップの改善を行っており、スマホなどに空き情報を提供できるように検討しています。そして、先ほど提案にもありましたが、11月には交通社会実験として八幡町内の一部の道路を一方通行にして交通の流れを検証します。また、期間中に開催される「ふるさとまつり」では駐車場案内板の設置や、駐車場をバイパス周辺に確保しシャトルバスでの輸送を行います。

【議長】

議会も10年程前からゆかた議会を行っています。市職員も浴衣を着る日を設けており、同日開催も検討できると考えます。

市内の中学校が交流する機会を増やす
【八幡西中学校】

生徒の少ない小規模校では多

くの人と交流する機会が少なく、人間関係が固定化し、社会に出るとき不利になると考えます。そこで、各学校で混合チームを結成してスポーツ大会を開催したり、さまざまなテーマを設定して討論大会を行うなど交流を行ってはどうか。また、各校の様子を伝える「生徒会だより」を互いの学校で掲示すれば、他校の様子もわかり活動と比較することができると考えます。

【教育長】



和田希さん、武藤朝陽さん

市では、交流人口を増やすための取り組みを行っています。まずは、土、日などに各校の生徒会が集まり提案の様な交流ができればとても良い活動になると思います。また、自分たちで計画したイベントは、どのような許可を得れば開催可能かなど体験していただきたいと思います。

この後、市長と生徒による意見交換が行われました。生徒から「この懇談会で発表された提案は、市政に反映されるのか」と意見があり、市長からは「有益なものを実現しているように市の施策へ取り入れていきたい」と回答がありました。